

性暴力対応(SART)チーム 研修会

2015年2月13・14日(金・土) 9-18時

東京大学医学部 1号館1階講堂 (裏面地図参照)

主催:性暴力被害対応チーム研修研究会

共催:東京大学大学院医学系研究科 母性看護学・助産学分野
後援:日本フォレンジック看護学会



《講師》

Linda Ledray 博士

(SANE-SART 資源センター長)

James Markey

(元フェニックス警察刑事)

Patti Powers

(ヤキマワシントンの検事)

Misty Marra

(西バージニア州法医学研究施設専門官)

*同時通訳あり

参加費:無料 (自由参加のアンケート依頼あり)

参加資格:何らかの被害者支援研修を受講したことのある方、先着100名

お申込み:2015年2月1日まで

詳細情報・申込は、<http://jafn.jp> (日本フォレンジック看護学会) から

《SART (Sexual Assault Response Team) とは?》

米国で1977年に始まったシステムです。性暴力被害者に対して、病院・警察・検察・NPOなどが連携して支援を行います。そのために地域の専門家や関係者が定期的に会合を持ち、被害者対応の研修を重ねるプロセスのなかで、必要時にスムーズに連携します。

今回は、この米国のSARTを開発し、全米のみならず国際的にも活躍されている4名の講師をお招きし、必要不可欠な考え方・知識・技術を含めた2日間の研修を行います。

*本研修は、平成26年度科学研究費助成事業(基盤研究(B):日本版性暴力支援チーム研修開発と看護師の調整能力促進)の助成を受けています。

■リンダ・リドリー博士 (Linda Ledray, Ph.D.)

リドリー博士は、1977年にミネソタ州のミネアポリス市にて、SANE (Sexual Assault Nurse Examiner) プログラムである性暴力資源サービス (SARS) を創設し、2009年までSARSのディレクターを務めています。1992年には、ミネアポリスで初めてSANE会議を招集し、その結果国際フォレンジック看護学会 (IAFN) が設立されることとなり、IAFNの認証委員会およびジャーナルの編集委員を歴任しています。

長年にわたり、博士が中心となって連邦政府からの研究助成を獲得しSARSを運営し、米国で多くのSANE-SARTプログラムのトレーニングからコンサルテーション、世界中から参加できるオンラインのSANE-SART、臨床実践のプログラムを運営しています。また、全国性暴力対応チーム (SART) 研修会の共同創始者でもあり、2001年から2011年まで2年毎にSARTチームメンバーの多職種間研修を指導し、2011年にテキサス州オースティンで開かれたSART会議には1,000人以上の参加者がありました。

■ジェームス マーキー (James Markey, M.Ed.)

マーキー氏は、フェニックス警察局で30年のキャリアがあります。1998年にフェニックス市家族アドボカシーである成人性暴力犯罪ユニットに配属になり、この間、60人以上の連続強姦犯を含めた6,000人の性暴力捜査への対応と監督を行ってきました。認定AZPOSTの指導者であり、かつテネシー大学全国法学会のトレーナーです。性犯罪、犯罪現場調査、DNA、迷宮入り事件の調査について、米国中で数百回もの法執行調査の研修を行っています。

■パティ パワーズ (法務博士) (Patti Powers, JD)

パワーズ氏は、キャリア検察官であり法廷弁護士です。米国中の一般市民や軍機関、カンファレンスでの全国的な基調講演、コンサルタント、トレーナーとしてもしばしば活躍しています。彼女は24年間、殺人も含めた大人と子どもの性暴力ケースを起訴してきました。200件以上の重罪陪審裁判を扱い、ワシントン州のヤキマ群のシニア副検察代理人として、病理、心理学、精神科医、医学、フォレンジックとDNAを含む多様な分野の専門家と働いています。性暴力捜査、検察、裁判アドボカシーの専門家としても全国的に知られています。全国CSCOMシンポジウム、コロラド全米性暴力シンポジウム、2003年FBI家族間暴力シンポジウムのメンバーでした。VAWネット顧問委員会のメンバーで、ストップ技術的助成プログラム実践マニュアルの編集を行っています。全国研修に加え、検察弁護士協会、性暴力アドボカシープログラムの州弁護士検討委員会、州性暴力アドボカシープログラム、全国を通じた法執行にも関わっています。

■ミスティ マラ (Misty Marra)

マラ氏は、西バージニアのマーシャル大学フォレンジック科学センターでDNAの検査コーディネーターとして法的DNA分析に従事し、9,000件近い加害者の検体とともに、殺人、性暴力、窃盗犯罪を含むおよそ500件の法的DNAを分析してきました。西バージニア州SANE顧問委員会のメンバーになった2001年1月から、マーシャル大学フォレンジック科学センターで最初に性暴力の検査に関わり始めました。その成果が、このセンターが2005年にウエストバージニア、米国中で成人と小児のSANEへのホスティング (データサービス) を始めることにつながりました。性暴力の取組みの1つとして、このセンターはキャベル郡SARTの毎月の会議のホストになっており、ミスティはメンバーの1人です。

会場：本郷キャンパス 医学部 1号館 (〒113-8654 文京区本郷 7-3-1)

